

県民提案型協働創出事業 成果報告書

実施団体名	NPO 法人あきたパートナーシップ		
取組事業名	小さな拠点から大きなつながりへ		
採択年度	令和4年度	補助金額 (3年間)	3,300,000円
事業概要			
<p>1 地域課題と事業目的</p> <p>・背景 少子高齢・人口減少、地域社会の脆弱化等の社会構造の変化に加え、長引くコロナ禍の影響等もあり、生活困窮者、子どもの貧困、若者のひきこもりの増加など社会的課題による様々な生きづらさを抱える人が増えている。</p> <p>自殺予防やDVなどの相談対応、子ども食堂やコミュニティ食堂の開催、食糧支援、学習支援など、市民活動団体、行政、社会福祉協議会などが様々な支援を実施しているが、それぞれの支援の対象や制度ごとに行われてきており、支援属性の狭間や支援制度の限界によりすべての人を対象にした支援とはなっておらず、支援が届けられていない人がいる現状にある。</p> <p>・方法 そこで、このような様々な課題に対して、直接的で複合的な支援ができる体制と、対象者や支援者に限らず市民同士がつながりを持てる場所「地域にある小さな拠点」を創設する。</p> <p>それぞれの支援活動をしている団体に集結してもらい、これまで培ってきた専門的なスキルと経験を活かしながら連携することで、個々の団体活動や各支援制度では対応できなかった人たちに対しても、切れ目ない支援が可能となる。</p> <p>・目的 この事業は、この拠点が様々な生きづらさを抱えた人たちが安心して集える場所となり、仲間がいることや孤独ではないこと、お互いが支え合えることを実感できるとともに、支援を受けるだけでなく、みんなが居場所や役割を見つけ自信を持って社会参加できるようになることを目指す。</p>			
<p>2 事業内容（課題解決の方法）</p> <p>・実施体制と役割 当法人が事務局となり、この拠点で活動する団体と協議会を組織し活動内容と役割を決め目的を共有する。 ※別添資料1 子どもの貧困対策として地域食堂と学習支援の取組を中心に据えながら、支援対象を拡大していく。</p> <p>(活動団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域食堂・高齢者支援（向日葵の会、NPO 法人あきたシニアクラブ、NPO 法人秋田育サポドリームエンジェル） ・学習支援（教職OB、大学生など） ・食糧支援（(一社)フードバンク秋田、あきたパートナーシップ） ・県商工会議所、振興会等と連携し街の活性化にもつなげる。 			

・実施場所

秋田市のNPO法人あきた結いネットが、就労支援事業として運営している施設「ストーリーキャット」の中の使用されていない部屋（オープンスペース）を市民活動団体向けの無料貸出スペースを活用。

・受益者

子ども、若者、障がい児者及び親の会、高齢者、シングルマザー、依存症患者や引きこもりの当事者及び家族会、外国人在住者、被災者、子育て中の母親など

3 実施スケジュール

令和4年度：計画・調整

①協議会への参加依頼等

- 10月14日 秋田県社会福祉協議会地域福祉・生きがい振興部（柴田）
- 11月20日 NPO法人秋田育サポドリームエンジェル（糸井）
- 2月21日 秋田市子ども未来部子ども総務課（鈴木・安宅）

②協議会発足に向けての会議・子ども食堂の開催について

- 2月7日 秋田商工会議所
秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課
秋田県地域づくり推進課

③拠点づくり実施に向けて説明

- 11月9日 NPO法人長信田の森就労支援センター（水野）
- 11月20日 NPO法人秋田育サポドリームエンジェル（糸井）
- 2月5日 まちなかトープ（村岡）

④11月20日「駄菓子屋さん&マルシェ」開催

- 会場 story cat（NPO法人あきた結いネット）
地域食堂のモデルとして開催

⑤3月「地域 コミュニティ食堂」4月からの開催に向けて広報・準備

令和5年度：事業開始

(1) 拠点（居場所）づくり相談対応等 ※随時対応

- 秋田市新屋 駄菓子屋「月猫の杜」
- 北秋田市 まちなかトープ
- 仙北市角館町 大人の秘密基地

- ・5月16日 秋田市新屋 駄菓子屋「月猫の杜」視察
自宅を改装し、駄菓子屋と子どもと高齢者の集まる場としてスタートした。

(2) 地域住民との連携を図るための情報交換

①4月6日 ㈱See Visions 代表取締役 東海林諭宣（ヤマキウ倉庫）

事業説明と協力依頼

- NPO法人あきた結いネット理事長 坂下美渉
- 秋田県地域づくり推進課地域協働推進チーム副主幹 安藤仁平
- あきたパートナーシップ 畠山・千田

②6月16日 旭南地区自主防災組合連合会 佐々木会長 (遊学舎)

③6月20日 南通り町内会有志の会へ事業PRを依頼(依頼文書)
6月24日の「地域 コミュニティ食堂」に参加

(3)「地域にある小さな拠点づくり協議会」開催

①5月19日 「地域にある拠点づくり協議会」設立 (遊学舎)

・主催者あいさつ

・事業説明 秋田県地域づくり推進課地域協働推進チーム副主幹 安藤仁平
「小さな拠点から大きなつながりへ」

あきたパートナーシップ 理事長 畠山順子

自己紹介

意見交換

秋田商工会議所、秋田県社会福祉協議会、NPO 法人男鹿潟上南秋教育会館、NPO 法人あきた結いネット、NPO 法人秋田育サポドリームエンジェル、向日葵の会、(一社)フードバンクあきた、秋田県地域づくり推進課、あきたパートナーシップ (11名)

②2月16日「地域にある小さな拠点づくり協議会」懇談会 (遊学舎)

・「居場所づくり」取り組みの紹介

大人の秘密基地 佐藤博美さん

まちなかトープ 代表 村岡典子さん

秋田商工会議所、秋田県社会福祉協議会、秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課、NPO 法人あきた結いネット、「地域コミュニティ食堂」関係者、まちなかトープ、秋田県地域づくり推進課、あきたパートナーシップ (13名)

(4) 子どもの貧困・独居の高齢者等の支援として、地域食堂と学習の取り組みを中心に支援対策の拡大を図る

①4月8日～5月27日(4回)「地域 コミュニティ食堂」開催 (story cat) … 250食提供
定期的開催 第2・4(土)

②6月10日～7月8日(3回)「地域 コミュニティ食堂+学びの場」(story cat) … 170食提供
学習支援の相談が2件あったが、参加までには至らなかった。

※7月14日から16日にかけての記録的な大雨でstory cat周辺の南通・櫛山地域の住宅が床上浸水等の被害に見舞われたことから、story catでは水害被災者支援活動を行うことになり、オープンスペースは使用できなくなり「地域 コミュニティ食堂」の活動内容の変更をせざる得なくなった。

③秋田水害支援活動 (7回)

・7月22日、8月5日、8月12日「地域 コミュニティ食堂」炊出し活動

3回 291食(+おにぎり20個)提供

・9月11日「地域 コミュニティ食堂」横森5丁目町内会 「お弁当・味噌汁」20個提供
被災したひとり暮らしの高齢者宅に、町内会長・副会長と一緒に届け、直接現状を伺った。

・9月24日移動「地域 コミュニティ食堂」(東地区コミュニティセンター) 120食提供
健康相談… 秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会
行政相談… 行政相談委員 秋田市地区担当者
ハンドマッサージ… (株)ポーラ広面店
お茶っこサロン・支援物資の提供:あきたパートナーシップ
協力:いわてNPO災害支援ネットワーク

・10月28日移動「地域 コミュニティ食堂」(檜山地区コミュニティセンター) 87食提供
健康相談…秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会
行政相談…行政相談委員 秋田市地区担当者
ハンドマッサージ…NPO法人蜘蛛の糸
お茶っこサロン・支援物資の提供…あきたパートナーシップ

協力 東部まちづくり専門員、いわてNPO災害支援ネットワーク、いわて学生ボランティアネットワーク5名、ピースボード災害支援センター2名

・1月14日移動「地域 コミュニティ食堂」(檜山コミュニティセンター) 52食提供
健康相談…秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会
ハンドマッサージ…NPO法人蜘蛛の糸
お茶っこサロン・支援物資の提供…あきたパートナーシップ
協力 なまはげこまち3名、ピースボード災害支援センター

④団体支援「地域 コミュニティ食堂」3回開催(遊学舎)

・2月11日 サポートグループ「COCOすた」…シングルマザーの会 10名(親子2組含む)
食事を提供した向日葵の会の皆さんと子育てのことやボランティア活動を通して感じていることなどを話した。この活動を続けてほしいという声が多数あった。

・2月20日 シニア世代 10名…ボランティア活動グループ
食事をしながら、本活動を説明し情報交換した。参加者の半数が、地域の中で困っている高齢者が居ると答え、住まいの近くに「地域コミュニティ食堂」があれば声をかけ合って参加したい。またお手伝いが必要であれば協力したいという声も多数あった。

・3月23日 JCF同路人 11名…中国残留邦人の生活支援団体
「中国人と日本人が差別なく同じ道を歩きましょう」JCF同路人の由来。支援者と昼食をいただきながら交流する機会となった。(二世・三世への生活困窮者支援が急務)

※協働団体 17団体

向日葵の会、NPO法人あきた結いネット、フードバンクで寄り添い支援実行委員会、山の学校、上北手ふれあい加工所、駄菓子屋「月猫の杜」、フードバンクあきた、tread chestnut、秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会、行政相談委員秋田市地区担当者、(株)ポーラ、NPO法人蜘蛛の糸、東部まちづくり専門員、いわてNPO災害支援ネットワーク、いわて学生ボランティアネットワーク、ピースボード災害支援センター、なまはげこまち

◎「地域コミュニティ食堂」…17回 1029食

4月～7月 (7回) 420食

7月22日～3月23日 (10回) 609食

ボランティア活動人数…21回(事前の準備日含む) 99名

4月～7月 (7回) 42名

7月22日～3月23日 (14回) 57名

◎野菜等の提供 個人(田口さん他)、東部まちづくり部会「未来を耕すプロジェクト」

◎移動「地域コミュニティ食堂」開催時、相談コーナー等ボランティア人数
9月24日（9名） 10月28日（12名） 1月14日（8名） …計29名

・秋田豪雨災害支援活動団体への協力…マッチング等 7件 ボランティア15名
チームニコナカ

12月9日 東地区コミュニティセンター 支援物資の提供

NPO法人秋田パドラーズ

12月10日 東地区コミュニティセンター 健康相談・支援物資の提供

4月14日開催準備 檜山地区コミュニティセンター

会場予約、健康相談、ハンドマッサージ、行政相談支援物資の提供

NPO法人バニヤンツリー

1月20日 檜山地区コミュニティセンター 支援物資の提供

3月9日 檜山地区コミュニティセンター

会場予約、健康相談、ハンドマッサージ、行政相談支援物資の提供

サラザン

1月28日・2月25日 檜山地区コミュニティセンター

会場予約、健康相談、ハンドマッサージ、行政相談支援物資

※秋田豪雨災害活動団体への協力…団体と団体とのマッチング7件

チームニコナカ、NPO 法人秋田パドラーズ（2）、NPO 法人バニヤンツリー（2）

サラザン（2）

(5) 資金調達等

①6月24日 寄付の贈呈 : 「地域 コミュニティ食堂」 story cat

秋田矢留ライオンズクラブ

南通 菅原さん

※マスコミの取材 AAB 秋田放送、ABS 秋田放送、魁新報社

②「地域コミュニティ食堂」開催時、募金箱設置（7回）

遊学舎フリーマーケットに出店（3回） 11月5日・12月3日・2月4日

令和6年度：事業開始

(1) 事業体制

① 事業打合せ

補助事業の目的、事業の進捗状況・実施計画説明（過去2年間の状況）、意見交換・情報共有

5月30日（木）14：00～15：00 於：遊学舎

秋田県健康福祉部・地域家庭福祉課 保護チーム

主査 高橋 愛、主任 笹村昌子

秋田県あきた未来創造部地域づくり推進課地域協働チーム

主事 小関亜美

② 「地域にある小さな拠点づくり協議会」開催 8月22日（木）13：30～15：00 於：遊学舎

・主催者あいさつ

・自己紹介

・「小さな拠点から大きなつながりへ」進捗状況

・「居場所づくり」取り組み紹介

秋田市茨島 ローズセブン 代表 田中幸子さん

・意見交換

「子ども食堂」立ち上げ予定者

・その他

それぞれの立場から話を伺い、つながる場となった。本事業の広がりがみえてきた。
秋田商工会議所、秋田市子ども福祉課、秋田県社会福祉協議会、NPO法人男鹿潟上南秋教育会館、
NPO法人あきた結いネット、ローズセブン、子ども食堂立ち上げ予定者、あきたパートナーシップ
(13名)

(2) 新規拠点づくりへの支援

① 交流スペース（居場所づくり）現地相談対応

11月17日（日）15：30～17：30 ～ 18日（月）9：00～12：00

NPO法人ふじさと元気塾 理事長 藤原弘章さん

ふじさと粕毛まちづくり協議会 会長 小山弘貴さん

（一社）白神山地ふじさと観光協会 1名

あきたパートナーシップ 千田

藤里町を訪ね、地域住民それぞれが役割を持って関わり、地域の拠点づくりを視野に入れた町の
活性化が進んでいることからヒヤリングを行った。

・ふじさと粕毛まちづくり協議会、ふじさと元気塾

町の散策途中に、または小高い山にある展望台に、誰でも利用できる「ひと休み」のできる居場
所を作る構想を聞いた。実現に向けてバックアップすることにした。

② 北秋田市脇神 「まちなかトープ」新拠点 現地相談対応

3月3日（月）15:00～16:00

まちなかトープ 代表 村岡典子

あきたパートナーシップ 理事長 畠山・千田

近くに小学校があり、子どもたちが集まりやすい環境にある。空き家の所有者からの提供を受け
北秋田市の協力を受けながら進めていけるようだが、運営費等についての相談を受け、助成金情
報等の情報提供することにした。

③ 相談対応 随時

仙北市角館町「大人の秘密基地」

北秋田市 まちなかトープ

秋田市 月猫の杜

秋田市 ローズセブン

男鹿市 おむすびハウス

秋田市 個人（「子ども食堂立ち上げ」希望者、ボランティア希望者等）

(3) 子どもの貧困・独居の高齢者等の支援として、地域食堂と学習の取り組みを中心に支援対 策の拡大を図る

① 「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat

5月11日（土）学びの場 10：00～12：00

地域コミュニティ食堂 12:00～15：00

食事の提供：46食

学習支援 希望者なし ボランティア…小松、鈴木、草皆

食事の提供 ◎向日葵の会4名、ボランティア体験 浅野

② 「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：秋田市南部市民サービスセンター別館（牛島）

5月26日（日） 食事の提供：15食 ◎向日葵の会5名

③6月8日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
学習支援 希望者なし ボランティア…小松
食事の提供：32食 ◎向日葵の会3名、個人1名

④6月23日（日）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」
会場：秋田市南部市民サービスセンター（御野場）
食事の提供：30食 ◎向日葵の会3名 ※新加入 浅野
健康相談コーナー：秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会（相談12件）

⑤7月13日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
食事の提供：38食 ◎向日葵の会4名
野菜の提供：田口

⑥7月28日（日）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：秋田市東部市民サービスセンター
食事の提供：40食
◎向日葵の会3名、あきたパートナーシップ1名、ボランティア体験 上野、東部まちづくり 佐藤
健康相談コーナー：秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会（相談3件）
野菜の提供：田口、東部まちづくり協議会

⑦8月10日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
食事の提供：38食 ◎向日葵の会3名、ボランティア1名

⑧9月14日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
食事の提供：48食 ◎向日葵の会5名

⑨10月12日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
食事の提供：69食 ◎向日葵の会5名、ボランティア2名（母娘）
食材の提供：田口

□準備 10月19日（土） 会場：遊学舎 食工房 ◎向日葵の会1名

⑩10月20日（日）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」
ローズセブン交流会へ 会場：秋田市茨島
食事の提供：60食 ◎向日葵の会6名

⑪11月9日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
食事の提供：64食 ◎向日葵の会5名
食材の提供：田口、落合

⑫12月14日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
食事の提供：67食 ◎向日葵の会6名
食材の提供：東日本フーズ（株）

□準備 12月21日（土） 会場：遊学舎 食工房 ◎向日葵の会4名

⑬12月22日（日）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 ミニクリスマス
会場：秋田市南部市民サービスセンター（御野場）
食事の提供：40食 ◎向日葵の会5名
食材の提供：JA全農、コダマ農園 ※広報の協力（牛島の渡部）

⑭1月11日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
食事の提供：83食 ◎向日葵の会6名
食材の提供：秋田県社協（里芋）、田口

⑮1月30日（木）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：遊学舎
食事の提供：20食 ◎向日葵の会6名
食材の提供：田口
健康相談コーナー：秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会

⑯2月18日（土）「地域 コミュニティ食堂+学びの場」 会場：story cat
食事の提供：70食 ◎向日葵の会5名
食材の提供：田口

⑰2月24日（月・祝）「地域 コミュニティ食堂in遊学舎」 会場：遊学舎
食事の提供：45食 ◎向日葵の会6名
食材の提供：田口
健康相談コーナー：秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会（相談4件）

地域コミュニティ食堂…17回開催

食事の提供数…805食

ボランティア人数…延101名

協力団体：秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会

食材の提供の協力…個人（8回）、東部まちづくり協議会、
県社協を通して企業等（4回）

※「学びの場」…問い合わせはあったが、参加までには至らなかった。

（4）資金調達活動

- ・遊学舎フリーマーケットに参加（8回…6・8・9・11・12・1・2・3月）
- ・事業の広報、寄付依頼 随時
5団体、個人9名、フリマ募金箱

（5）実践セミナーの開催

2月18日（火）13：30～16：00 会場：遊学舎 会議棟

講演会 実践者に聞く「食育推進」・「家族支援」・「生涯学習支援」

- ・開会のあいさつ
- ・講演「おりぎの食卓の現状と10年経過して思うこと」
NPO法人「おりぎの家」理事長 佐藤宏美
- ・活動紹介「こども食堂と小さなおせっかい」
みんなの明日食堂 代表 因幡久子
- ・質疑応答・意見交換・交流（グループワーク…全体共有）
- ・全体共有
- ・閉会のあいさつ

参加者 38名（NP016、企業3、個人4、議員1、行政14）

参加者は子ども食堂の必要性を感じている方、これから孤食や引きこもりがちな高齢者の居場所づくりの拠点を検討中の方、現在活動中の方々の研修の場として活用してもらった。「実践者の優しく熱い思いに刺激を受けた」、「グループワークを通して横のつながりができた」等の意見があり、有意義な時間となった。

4 この事業で見込まれる成果

一人暮らし高齢者、災害の被災者、シングルマザーなど生きづらさを抱えた人たちが拠点に集うことで参加者同士、主催者やボランティアとの交流を通して地域のつながりが生まれた。「前向きになれた」「来てもいい場所」「話を聞いてくれる人がいる」などの声が届いた。

秋田水害が発生したことで内容を変えての事業となったが、災害支援を体験したことで地域のコミュニティの重要性が再確認できた。災害時の拠点の役割は大きい事も実感した。

様々な対象者への支援として、内容によっては行政や社会福祉協議会・NPO等の支援団体につながり役割を果たした。

ボランティア活動等を通じて地域住民が主体的に関わることで、社会活動や多様性への理解が深まるとともに、生き生きとした元気な地域づくりにつながっていく。

資金面では補助金を活用することで、充実した食事の提供と研修やセミナーが実施でき、それぞれの地域にあった支援拠点が増えていく機運が高まった。

5 主な役割分担と協働

県や市町村、社会福祉協議会等の支援関係機関との連携は欠かせないものであり、社会的な信頼性と広報力により事業の運営を円滑に進めることができた。

事業の理解者が増え、秋田西ロータリークラブ、秋田矢留ライオンズクラブ、個人からの多額の寄付や、米などの食材の提供を受けた。

県社会福祉協議会が立ち上げた「あきた子ども応援ネットワーク」と連携したことによって、支援協力団体との情報共有が可能になった。また、県社会福祉協議会を通して企業からの食料の支援が受けられるようになったことは物価高騰の折、助けられている。

6 この事業の今後の課題・展開等

・「地域にある小さな拠点づくり協議会」の継続を図る。

県健康福祉部地域・家庭福祉課、秋田市商工会議所、秋田県社会福祉協議会、各NPOや関係機関との協働が構築できた。この関係性を継続し、今後の事業に活かしていきたい。

・この事業の理解者が増え、ご寄付や食材の提供の応援を受け、感謝と責任を感じながら事業に取り組んでいく。

・「地域コミュニティ食堂」の継続、月1回遊学舎 他要望で県内各地で開催予定

・新たな拠点づくり推進 立上げ、立ち上げ後の運営、資金調達、空き家情報提供等

・実行団体のボランティアの人材の確保（向日葵の会継続、学習支援継続、コミュニティ食堂応援隊継続）

・研修会・セミナーなどの開催

■担当課室のコメント（地域・家庭福祉課）

○実践セミナーの開催は、実践された方の優しく熱い思いや具体的なノウハウを、参加者間で共有する場を設けることができ、更なる活動の発展に繋がると感じました。

○各地域で必要とされている拠点の在り方は異なるものの、拠点・コミュニティの重要性をあらためて感じたところです。今回の取り組みを活かしつつ、「地域にある小さな拠点づくり協議会」に賛同する方が増えていき、それぞれの地域の実情に合わせた活動が広がっていくことを期待しています。